

2025年2月21日

報道各社 各位

大塚国際美術館

速報第3弾

2025年3月18日(火)公開 フェルメール「合奏」
新展示記念メニューが登場！



大塚国際美術館(徳島県鳴門市)は、フェルメールの傑作「合奏」を陶板で原寸大に再現し、3月18日から一般公開・常設展示します。作品がアメリカ・ボストンの美術館に所蔵されていたことにちなみ、新展示記念メニューとして「ボストンランチ」と「ボストンクリームパイ」を館内のレストランとカフェで提供いたします。鑑賞と合わせて、期間限定の特別なランチとスイーツをお楽しみください。

2025年3月18日(火)～5月31日(土)限定

1日限定60食

ボストンランチ

阿波尾鶏のチキンサンドウィッチと

クラムチャウダースープ 1,600円(税込み)

ボストン名物のクラムチャウダーと、徳島のブランド地鶏「阿波尾鶏」を使用し、アメリカ発祥とされるBBQソースで仕上げたサンドウィッチ。



Restaurant
GARDEN

【場 所】1階 レストラン ガーデン

【営業時間】11:30～14:00(ラストオーダー14:00)

2025年3月18日(火)～5月31日(土)限定

1日限定30個

ボストンクリームパイ 600円(税込み)

※スイーツセット 1,050円(税込み)

スポンジケーキの間にカスタードクリームを挟み、チョコレートでコーティングした、アメリカ・ボストン発祥の昔ながらのスイーツ。



Café de
Giverny

【場 所】地下2階 カフェ・ド・ジヴェルニー

【営業時間】10:30～16:00

※レストラン、カフェのご利用は入館料が必要です

■フェルメール「合奏」 3月18日(火) 一般公開・常設展示



フェルメール「合奏」 1663-66年頃
72.5 × 64.7cm
イザベラ・スチュワート・ガードナー美術館 ポストン
©Isabella Stewart Gardner Museum, Boston

1990年3月18日にアメリカ・ボストンのイザベラ・スチュワート・ガードナー美術館で起こった盗難事件で消失した13点のうちの1点。同館は今なお、美術品の安全な返還につながる手がかりを探しており、多くの関心を集めています。事件から35年を迎える2025年3月18日、いまだ行方不明である名画の追加展示にぜひご期待ください。

和やかに奏楽するワンシーンをひそかに垣間見たかのような、フェルメールが好んだ情景。男性がリュートを弾き、女性がチェンバロを演奏する中、もう一人の女性が楽譜を持ちながら拍子を取り、歌っています。演奏をテーマとした作品の中でもとりわけ自然で、親密な雰囲気のある室内画です。

17世紀オランダにおいて、画家たちは愛を表現するために楽器や音楽を用いました。フェルメールにとっても、音楽のある情景は身近なものであったことがうかがえます。

■ヤン・フェルメール (1632~1675)

1632年オランダ・デルフト生まれ。21歳のときから画家としての活動を始め、デルフト画家組合の理事も務める。手紙、音楽、恋愛などを題材とする室内の日常生活を描き、緻密な筆遣いや計算された光の表現、幾重にも解釈できる画中画など、鑑賞者を魅了する美しく繊細な作品を残した。

1675年43歳で没するとその作品は次第に忘れ去られてしまったが、19世紀になって改めて評価されるようになった。



▲ 大塚国際美術館 地下2階 フェルメールギャラリー

大塚国際美術館

大塚グループ創立 75 周年記念事業として 1998 年 3 月に創業の地である徳島県鳴門市に設立した陶板名画美術館。世界 26 カ国の西洋美術を代表する名画 1000 余点を陶板で原寸大に再現し展示しています。美術書などで一度は見たことがある名画が一堂に会し、日本に居ながら世界の美術を体験できます。

【住 所】〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

【T E L】088-687-3737 【F A X】088-687-1117

【U R L】<https://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】9時30分から17時(入館券の販売は16時まで)

【休 館 日】月曜日(祝日の場合は翌日)、1月連続休館あり、その他特別休館あり *8月無休

【入 館 料】一般 3,300円 / 大学生 2,200円 / 小中高生 550円 *20人以上の団体は10%割引

《お問い合わせ先》大塚国際美術館 学芸広報部 原田・富澤

TEL:088-687-3737 FAX:088-687-1117 MAIL:info@o-museum.or.jp